

授業科目名	臨床医学各論 I	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	加藤 雅典	単位	2	年次	2

＝授業のテーマ及び到達目標＝

「健全な精神は健全な肉体に宿る」、また「芸術は心身の良好な状態を作ることに役立つ」と云われているが、健全な精神あるいは身体とは、どのような状態を云うのか。具体的な疾患の原因、病態および治療を学ぶことにより、心身の構造の脆弱性および強靱性を理解する。それにより、人生の価値あるいは人に与える芸術の意義を高めることが可能となる。かつ音楽療法士をめざす学生が必要とする医学的知識を習得することが出来る。

＝履修の条件と学習の方法＝

高校で生物を履修していることが望ましい。資料の予備は保管しません。出席者同士でコピーすること。授業中の飲食は禁止します。本講義では講師が準備した講義ノートをもとに病気の原因、病態および治療について、専門用語の解説を加えて説明する。個々の疾患の概念を理解できるよう、学生に罹病体験があればその時の症状を説明を行ってもらう。

＝授業の概要＝

下記の授業計画に沿って、各疾患の病因および治療について説明した後、現代社会の抱える医療・福祉の問題点を討議する。特に、メンタルヘルスおよび高齢社会における社会問題を重点的に掘り下げて議論する。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス：シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 解剖生理学：からだのしくみとはたらき
- 3回 病理学：病気のなりたち
- 4回 臨床診断学：診断の方法と目的
- 5回 精神科疾患 双極性感情障害
- 6回 精神科疾患 神経症
- 7回 精神科疾患：統合失調症
- 8回 人格の障害、精神遅滞および心理的発達障害
- 9回 脳器質性障害
- 10回 総復習及び症例検討（1）
- 11回 リハビリテーション
- 12回 アレルギー性疾患
- 13回 感染症および免疫疾患
- 14回 ロコモティブシンドローム
- 15回 総復習及び症例検討（2）
- 16回 期末試験

＝テキスト（必携）＝

無し

＝参考書・参考資料（必携）＝

《No.1》

書籍名：臨床ナースのための Basic & Standard 精神科看護の知識と実際

著者名：吉田佳郎他

出版社：MCメディカ出版

=成績評価の方法と評価の基準=

- ・学期末の筆記試験（評価の 80%）及び授業への参加姿勢（評価の 20%）
- ・択一式、記入式、記述式試験
- ・専門用語が正しく理解できているか（50%）
- ・疾患の概略が正しく説明できるか（30%）
- ・疾患の予後および最新の治療法を知っているか（20%）

=その他=

携帯端末使用禁止